
六本木アートナイト 2022 外国語ガイドツアー [Wander & Wonder Tour]

報告書



六本木アートナイト実行委員会



六本木アートナイト2022 外国語ガイドツアー [Wander & Wonder Tour]実施報告書

1. 企画概要

〈企画タイトル〉 Wander & Wonder Tour at Roppongi Art Night 2022

〈開催概要〉

六本木アートナイト2022の展示作品を、参加者ととともにめぐる英語を用いた作品鑑賞ツアーを実施した。新型コロナウイルス感染症による影響で、海外からの来場者が見込みにくい中、今年度は主に在留外国人を対象にアートを通じて国際色豊かな六本木の街を見つめ直す機会を創出した。ツアーでは、六本木アートナイトの作品鑑賞で街を巡りながら参加者自身のルーツや思い出を参加者同士で共有する場を設けた。さらに、単なる作品鑑賞にとどまらず、街の歴史や社会的背景を参加者に共有し、六本木の街に対する新たな視点を生み出す試みとした。

〈会場〉 六本木アートナイト2022 各所

〈開催期間〉 ツアー①：2022年9月17日(土)17:00～19:30

ツアー②：2022年9月18日(日)17:00～19:30

〈事業の背景と目的〉

●背景

新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限や水際対策強化といった限定的な入国措置を考慮した上での実施となったため、今年度は、海外からの訪日観光客を主なターゲットとせず、主たる対象を国内に在住している様々なルーツを持つ方と設定し、プログラムを組み立てていくこととなった。六本木アートナイトの延期期間中には、新型コロナウイルス感染症の影響による移動の制限があったことから、街の歴史や都市の成り立ちをツアーの中に付け加えていくことで参加者自身が東京や六本木エリアを新たな視点で体験していくことを促す内容とした。

●目的

- ・芸術文化を活用し、多文化共生社会の実現に向けた在留外国人の地域参画を促す。
- ・アートを通じて、参加者に街を体験する新しい視点をもつことを促し、街の魅力を伝えていく機会を創出する。
- ・インバウンド回復時に役立つため、海外からの来場者に必要な翻訳などのアクセシビリティについて検討していく。

2. プログラム内容詳細

●ツアー①：2022年 9月17日(土)17:00～19:30

六本木ヒルズママンに集合→芋洗坂へ移動→東京ミッドタウンキャノピースクエア→東京ミッドタウンにてディスカッション→解散(展示公開時間を過ぎたため、一度解散した後に、参加者を駅まで案内するかた

ちで、六本木西公園に立ち寄り、六本木西公園の作品を来場者とともに鑑賞した。ほとんどの参加者は、駅までの案内まで参加したため、地下鉄六本木駅入り口付近での解散となった。)

●ツアー②：2022年9月18日(日)17:00～19:30

六本木ヒルズママン付近に集合→ウエストウォーク→芋洗坂→毛利庭園→六本木ヒルズアカデミーヒルズ入り口前解散

※9月18日(日)は、天候悪化のため予定していたルートを変更した。

●ファシリテーターから参加者へ共有した内容

- ・六本木エリアの発展の中で、六本木アートナイトの歴史や公共空間におけるアートの役割
- ・住民の社会的文脈(六本木アートナイト2022出展作品「まちと美術館のプログラム『つむぐプロジェクト2020年～2021年活動紹介』」を紹介し、六本木で暮らす人々とアートが紡ぐ地域開発との関係等)
- ・六本木地区の国際化(明治時代から今日まで)と国際社会の現在像
- ・地域のもつ社会的な文脈(芋洗坂の歴史、軍事基地の歴史など)

●対話の内容

- ・9月17日(土)は、東京ミッドタウン内で、参加者が4人1組となり、作品の感想やツアーに関する感想、都会での生活などについて気軽に語り合い、ツアーの締めくくりとした。
- ・参加者同士の対話では「どこから来ましたか?」といった簡単な質問を行うことから開始。日本で生まれたという方や長期的に住んでいる方、一時的な滞在、最近訪日したという方など、多様な背景をもつ方々で意見を交換する場となった。各々のルーツや暮らした街と港区・六本木を比較しながら、今回のツアーで練り歩いた六本木の街に対する捉え方や感想を述べ合った。
- ・9月18日(日)は天候悪化のため、街歩きをしながら参加者間での対話を行った。鑑賞した作品に関する感想や意見を相互に交わした。アート作品に対する感想や意見から、六本木の街に対する様々な認識の違いを共有していった。

●六本木の街の事前リサーチ

- ・今回のツアーでは、2018年度・2019年度に実施した六本木アートナイトの外国語対応企画の報告書を参考に、六本木エリアに関する学術文献を調査し、作品が設置された芋洗坂に特化した情報を新たに盛り込んだ。
- ・事前のフィールドワークを行い、街中に点在する作品と作品の間で、エリアの歴史や背景、地理的情報を調査した。

●記録写真



〈運営メンバーからの所感〉

○これまでの外国語ツアーでは、ツアーの途中に参加者が離脱してしまうことが課題だったが、下記の点を工夫し、参加者全員が最後までツアーに参加することとなった。

- ・ ツアーの最初にツアー内容の概観を共有し、ツアーがどこまで進んでいるかを参加者に共有した。(例:「もう半分以上進んだよ!ここまで来てくれてありがとう」)
- ・ ツアーの最初に、休憩スポットがあることを共有した。
- ・ ツアー中は、六本木の街がどのようにアートと文化の街として成長してきたか、という点や、街を巡りながら、六本木の街中にある跡地に関する話題を挿入していき、参加者の興味を喚起するような話題提供を行った。
- ・ アンケートの価値を説明し、アンケートのあとに、地下鉄六本木駅までの近隣の作品に立ち寄ることを伝え、アンケートの記入まで参加してもらうよう促した。(結果的にほとんどの参加者が地下鉄六本木駅まで同行した。)
- ・ ファシリテーターやスタッフ、参加者間での対話の機会を設けた。

○ツアーでは、参加者が自分で作品を解釈しやすいように、情報は最小限にとどめ、参加者に『なぜ・・・と思いますか?』といった質問を投げかけた。より積極的に参加者自身が思考し、それぞれの考えを対話に活かすことにつなげることを目指したことで、アンケート結果でも作品情報が「多すぎない」と述べられている結果につながっていると考えている。

○受付の時間を利用して、ファシリテーターやスタッフが参加者と会話をするすることで、ツアーの前に参加者の属性を知り、ツアーでの対話にも活かすようにした。(少人数でワークショップ形式のツアーを行うには有効である。)

○ツアースタッフは、できるだけ参加者と会話をするように心がけ、自らも作品に関する感想を参加者に共有し、新たな見方を獲得できるよう相互の意見を出しやすくするように促した。

○事前の申込時では最小限の情報収集に務め、参加のハードルを少なくするようにした。

○ファシリテーター(カナダ出身)の意図として、外国からの移住者という立場であっても、アート作品を自己解釈するための価値のある経験をすることができることを強調することが重要であった。

〈反省と今後の改善に向けて〉

○9月18日(日)は台風による大雨の影響で、ルートを変更せざるを得なかった。事前に準備していた雨天時用のツアーとなったが、よりカジュアルに参加者との対話を行う場を設定することが難しかった。

○ファシリテーターはマイクを使い、旗や傘を持ちながら台本を読むこととなった。ツアー内容や参加者との交流に集中できるよう、この役割を効率化するための工夫が必要だと感じた。

○時間帯については、改善すべき点がある。全体としては許容範囲であるが、参加者からは、作品撮影の時間や、作品と作品の間の時間をもう少し短くしてもよいのではないかという意見があった。作品鑑賞の数に関しても工夫することが必要と感じた。

○参加者のうち、1名がベビーカーを伴った参加となった。当初のルートでは、芋洗坂の道は交通量が多く

狭いので、アクセシビリティに不安があったため、スタッフと連携し、ベビーカーの方は別のルートを個別に案内した。街中の作品鑑賞では、安全性をより確保した場所で鑑賞することが求められるため、今回はこのような対応になった。

3. アンケート集計結果

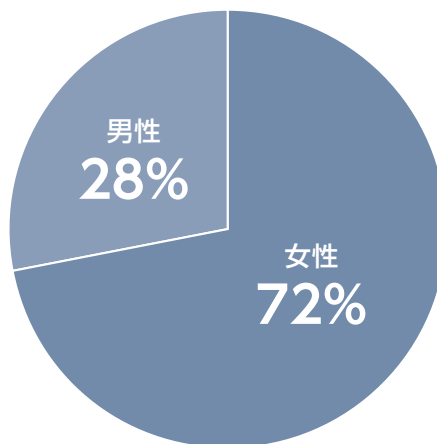
〈参加人数〉

5月25日(土)	9月17日(土)	9月18日(日)
事前申込人数	15	15
実際参加人数	16 + RAN関係者2名	9

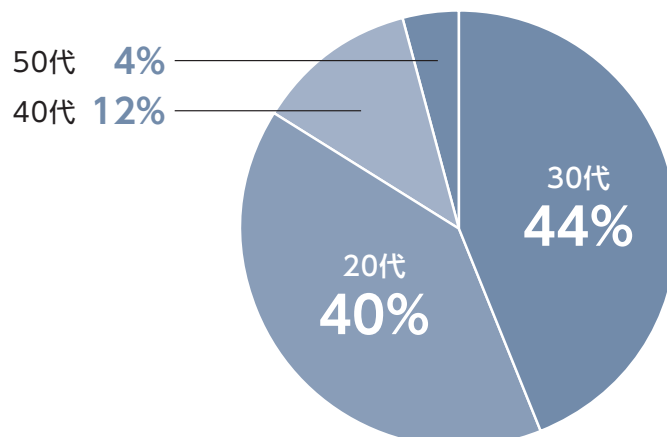
※9月18日は大雨の影響や電車の遅延を理由としたキャンセルとなった。

アンケート集計 9月17日(土): 16名
9月18日(日): 9名
合計: 25名 (回収率: 100%)

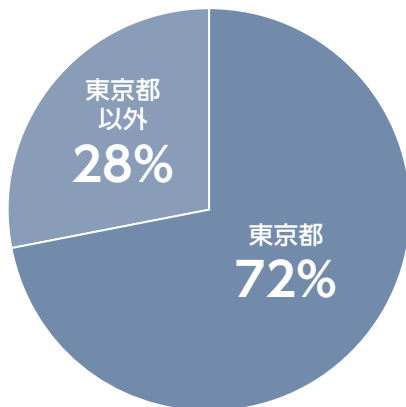
① 性別



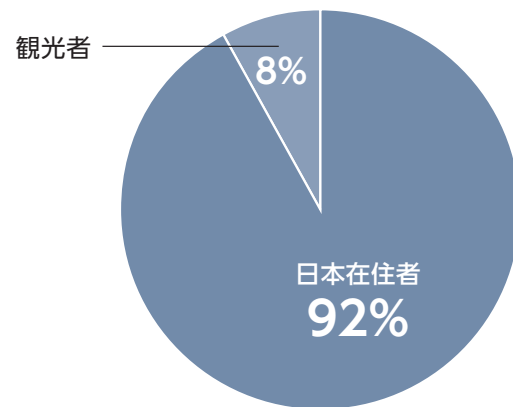
② 年齢



③ 居住地



④ あなたは、日本在住者ですか、観光客ですか。



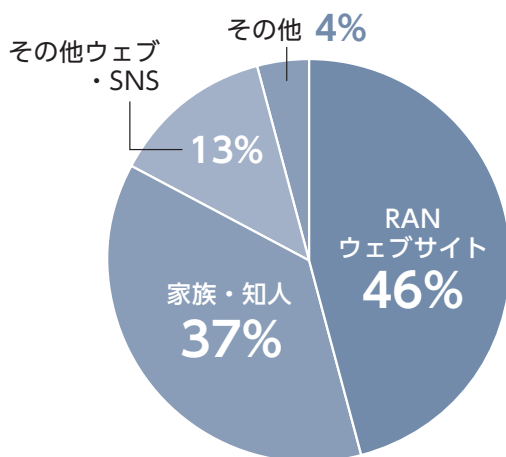
⑤ 出身国・地域

- 7 日本（新潟県、大阪府、千葉県、福岡県、東京都）
- 6 中国
- 5 アメリカ合衆国
- 1 イギリス
- 1 インド
- 1 オーストラリア
- 1 大韓民国
- 1 ドイツ
- 1 フランス
- 1 メキシコ

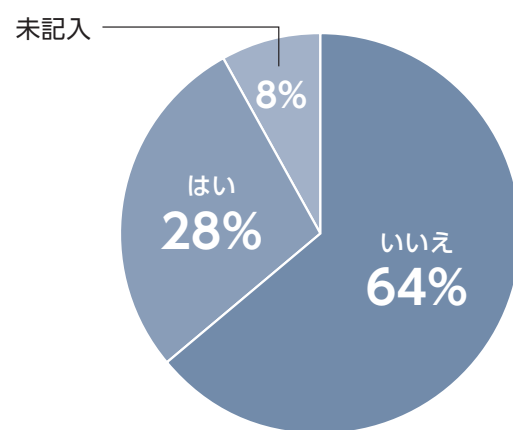
日本在住者のうち：

都内内訳	東京都以外
5 新宿区	2 横浜市
2 文京区	1 厚木市
2 港区	1 茨城県
2 目黒区	1 富山県
1 江東区	2 未記入
1 板橋区	
1 中野区	
1 大田区	
1 世田谷区	
1 足立区	
1 未記入	

⑥ 本企画をどこでお知りになりましたか。



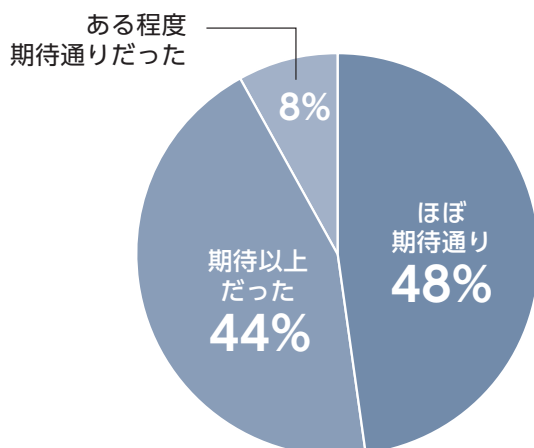
⑦ 六本木アートナイトに参加したことはありますか。



⑧ 本企画に参加しようと思った動機は何ですか。

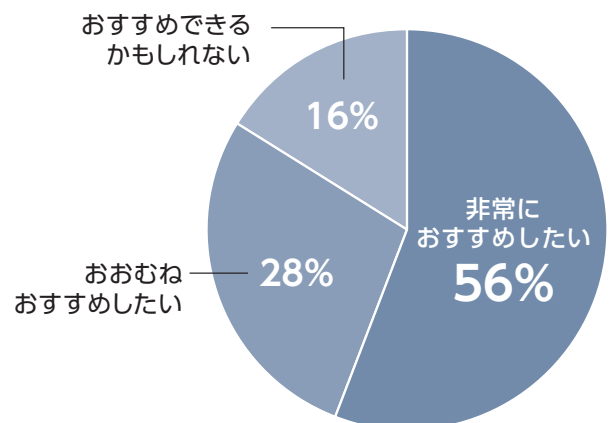
- ・六本木の別の側面を見るため
- ・インスタレーション作品に関心があった
- ・なんとなく興味を持ったから
- ・街を歩きながら、他の参加者と出身地についてもっと語り合いたいと思ったため
- ・リラックスしつつ、刺激を受けたいと思ったから
- ・アートを感じたいと思った
- ・新しい六本木を探求したかった
- ・アートの鑑賞、他の来場者とのコミュニケーションのため
- ・アート作品に関する説明を受けたかったから
- ・アート作品の説明というツアーだったから
- ・アート作品の解説を聞いたかったから
- ・カイカイキキの作品を見るため
- ・わくわくしたから
- ・ドラえもん[®]と新しいアートと出会うため
- ・ツアーに参加すれば全体の鑑賞をより短くできると思った
- ・アート作品がある建物の中を見ることができると思ったから
- ・アート鑑賞！
- ・アートについて勉強したかったため
- ・主に村上隆のアート作品を見るため
- ・六本木アートナイトは以前から知っていたが、参加したことはなかった
- ・このツアーは、作品とこの場所の中に入っていきようなもので、まさに自分が期待していたものだった
- ・アート鑑賞
- ・あらゆるアート作品に囲まれた六本木の町をさまようことができた。
- ・街を知り、新しいアーティストを知ること
- ・六本木に広がるアート作品の鑑賞

⑨ 実際にプログラムに参加してみていかがでしたか。（複数回答可）



全く期待通りではなかった／0%

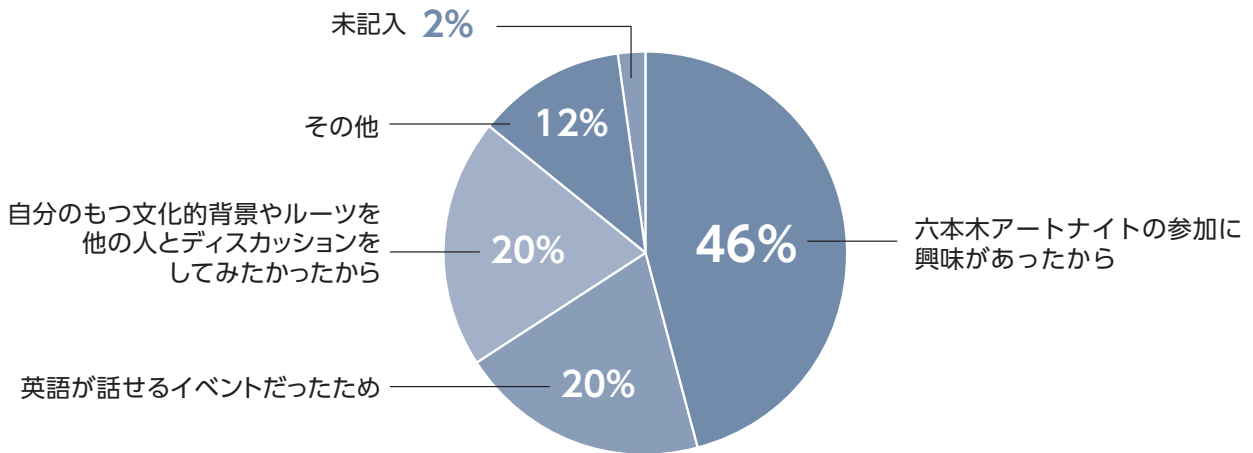
⑩ 他の人(友人、家族)にも六本木アートナイトを勧めたいと思いますか。



全くおすすめしない／0%

⑪ 本プログラムに対するフィードバック

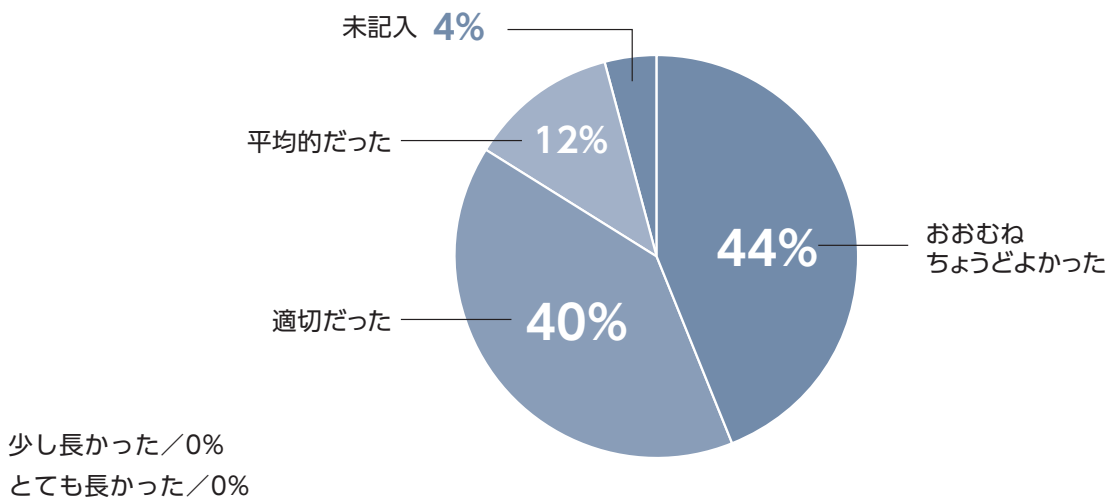
(a) 本企画に参加しようと思った動機は何ですか。(複数回答可)



その他

- ・アートに関心があった
- ・知人から勧められた
- ・以前、六本木アートナイトに来場した際にツアーの実施を見かけて、参加したいと思っていた

(b) ツアーの長さはいかがでしたか。



※実際に街中を散策するツアーの時間は約1.5時間とした。

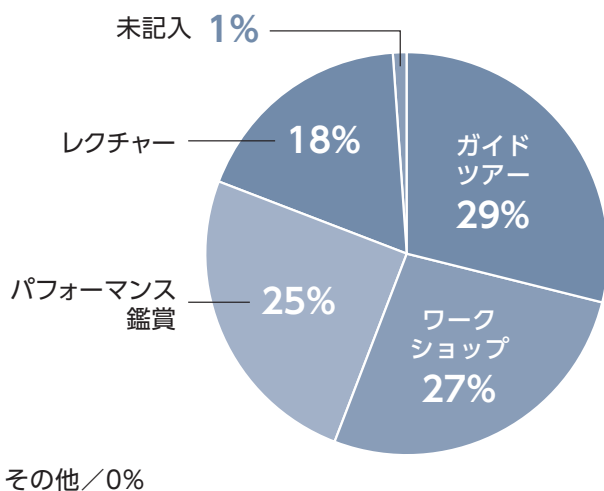
気に入った点 (自由筆記)

- ・街歩きができたこと
- ・ツアーの雰囲気が良かった
- ・人ごみの中でも説明が聞き取りやすいようにトランシーバーの使用があったこと
- ・六本木の場所の歴史や、街角の作品などを見ることができた
- ・担当者と明確なコミュニケーションができ、オーディオ機器が使いやすかった
- ・場所の歴史についての説明が素晴らしかった
- ・歴史と現代アートの説明のバランスがとてもよかった
- ・それぞれのアート作品の間にその場所に関する歴史の説明があったこと
- ・わかりやすい説明
- ・歴史と文脈の説明がよかった
- ・充実したアート作品の説明
- ・リヴァ・クリストフ「人間自動販売機」がよかった
- ・六本木の街の歴史を学ぶことができた
- ・ガイドさんの説明がとてもわかりやすく、気づかなかったことを教えてもらえた
- ・素晴らしいツアーで、歴史的な背景が気に入りました
- ・ガイドの説明がすばらしかった

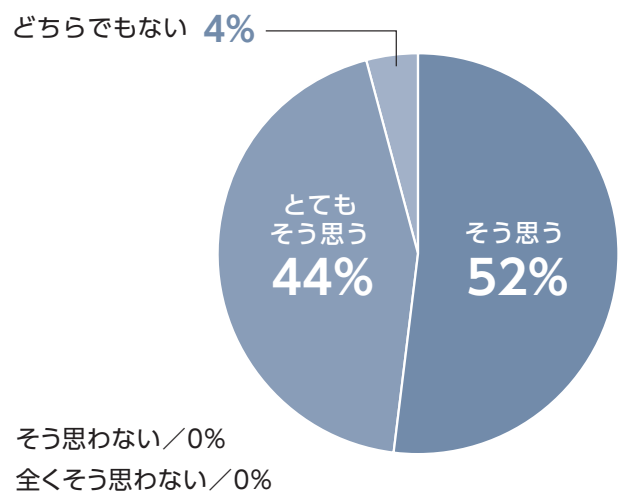
改善点についてご意見・ご感想をお聞かせください。(自由筆記)

- ・ツアーの目的はなんだろう、と感じた
- ・アート作品は特段面白いものではなかった
- ・ウェブサイトはもっとわかりやすく、圧迫感のないものがよいのではないか
- ・地域の歴史をもっと聞きたい
- ・考えさせるような説明や解釈が少ないのではないか
- ・もっと集中して作品を見たかった。思ったより分散していた
- ・ガイド中にもっと意見を交わすことができること
- ・もっと休憩時間がある方がいい
- ・留まるところがやや多い
- ・もっとアート作品を見たかった
- ・特になく、とてもよいツアーだった

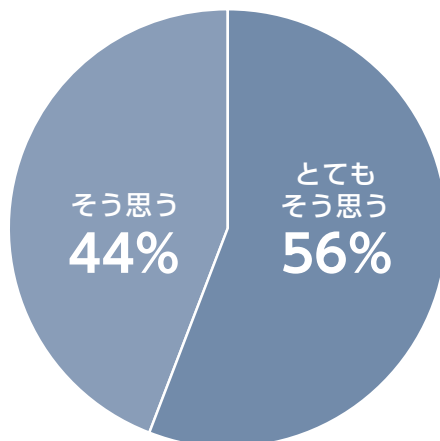
⑫ 英語の企画でどのようなプログラムに参加してみたいですか。(複数回答可)



⑬ このプログラムに参加したことで、六本木への興味は深まりましたか。

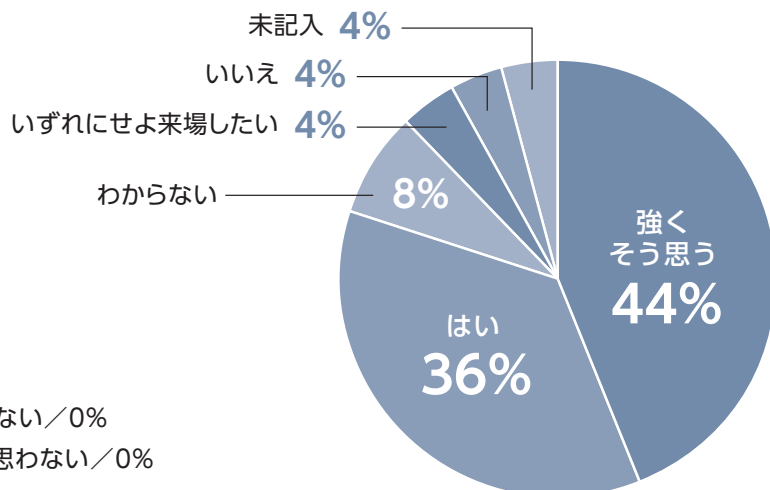


⑭ ツアーに参加して、六本木に対する理解が深まったと感じますか。



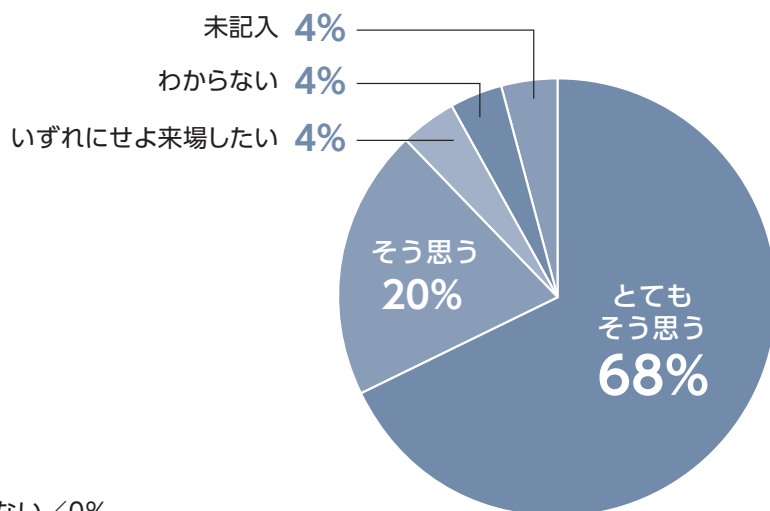
どちらでもない／0%
そう思わない／0%
まったくそう思わない／0%

⑮ 多言語の企画があれば、六本木アートナイトに再度来場しようと思いますか。



そう思わない／0%
全くそう思わない／0%

⑯ ツアーがあれば、アート作品の鑑賞を助け、六本木アートナイトに再度来場しようと思いますか。



そう思わない／0%

⑰ 六本木アートナイトで日本語を母国語としない来場者に向けた
多言語プログラムの実施に向けて改善できる点があればご記入ください。(自由筆記)

- ・ より小さなグループの方が、より深く交流することができた
- ・ 作品やプログラムに英語を取り入れてほしい
- ・ 中国語でボランティアがやりたい
- ・ SNSでより多くの情報が得られるといい
- ・ 他の言語でのツアー
- ・ より多くのアート作品の紹介
- ・ 他の言語でも行うとかでいいと思います！（選べるように）
- ・ レクチャーがあるといい。アーティストを招聘したかたちで、アーティストのコンセプトを知りたい
- ・ レクチャー
- ・ このツアーはとても楽しかった。

その他、お気づきの点やご意見があればご記入ください。(自由筆記)

- ・ ファシリテーターのラナさんの話は、知識が深く、とても興味深く聞くことができた。
また、面白い質問を投げかけてくれるので、ただ聞くだけでなく、ツアー自体がより良いものになったと感じている
- ・ とてもよいツアーでした。ありがとうございました
- ・ お疲れ様でした。社会的な文脈をツアーに入れてくれてありがとうございました
- ・ ありがとうございました。とても楽しんで参加することができました
- ・ ルートマップの作成、夕食の手配などがあるといい
- ・ このイベントの本当の目的は何なのかわからなかった。このツアーでは、六本木の近代の発展や、この地域の本当の意味での包括的な意味を問うもの。でも、アート作品が設置されているのは、あまりにも派手なエリアで、そこに設置されている作品は、アート作品には見えなかった。
アート作品が派手な街のエリアの装飾にしか見えないのではないか。
- ・ ありがとうございました。とても興味深いツアーで、楽しむことができた
- ・ 他の参加者と対話することができてよかった
- ・ ありがとうございました！

〈企画者プロフィール〉

Lana Tran (ラナ・トラン)

カナダ・トロント生まれ。2011年より東京を拠点に活動中。東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士課程に在籍中。アーツ千代田 3331にて町内の展覧会や国際交流プログラムの開発を経て、2019年、トロント大学ミュージアム学修士号を取得。現在、日本の地域型アートプロジェクトにおいて、街に内包される歴史や記憶をどのように引き出し、表現・発信するか、そのプロセスと社会的な意義の特徴を調査している。

六本木アートナイト 2022

■開催日時：〈メインイベント〉 令和4年9月17日(土)～9月19日(月・祝)10:00～22:00

※19日のみ18:00まで ※9月3日(土)より一部作品は先行展示

■開催場所：六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、

六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

デジタル(公式ウェブサイト、公式 YouTube チャンネル【RAN TV】)

公式ウェブサイト：<https://www.roppongiartnight.com/>

公式 YouTube チャンネル【RAN TV】：https://www.youtube.com/c/rantv_roppongiartnight

■主催： 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、港区、
六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、
21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】

■助成： 令和4年度文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業

外国語ガイドツアー「Wander & Wonder Tour」報告書

発行：六本木アートナイト実行委員会

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

森ビル株式会社 森美術館内

URL：<http://www.roppongiartnight.com/2022/>